

平成23年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校5年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中問	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数と計算 5年	A(3)イ 小数×小数	小数×小数の計算ができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 5年	A(3)イ 小数÷小数	小数÷小数の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 5年	A(4)ア 分数と小数の表し方	小数を分数に、分数を小数に表すことができること。			○		○	
④	2		数と計算 4年	D(2)ア 数量の関係を表す式	()を使った計算の順序についてのきまりを理解していること。				○	○	
⑤	3	(1)	数と計算 5年	A(1)イ 公倍数	最小公倍数を使って考えることができること。		○				○
⑥		(2)	数と計算 5年	A(1)イ 公約数	最大公約数を使って考えることができること。		○				○
⑦	4	(1)	数と計算 4年	A(2)ア 概数の用い方	目的に応じて概数を用いようとしていること。	○					○
⑧		(2)	数と計算 4年	A(2)イ 概数の意味	四捨五入の意味を理解していること。				○	○	
⑨	5	(1)	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	オセロのコマの数の増え方をもとに、オセロのコマの数を求めることができること。			○			○
⑩		(2)	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	オセロを並べた段の数と、オセロの数の変わり方を調べ、言葉の式で表すことができること。		○				○
⑪		(3)	数量関係 5年	D(2) 数量の関係を表す式	オセロを並べた段の数と、オセロの数の変わり方をもとに、オセロの段の数を求めることができること。		○				○
⑫	6	(1)	量と測定 5年	B(2)イ 体積	体積は、一辺が1 cm の立方体の個数で表すことができることを理解していること。				○	○	
⑬			量と測定 5年	B(2)イ 体積	直方体の体積を求める公式について、示された図に合わせて説明できること。				○	○	
⑭		(2)	量と測定 5年	B(2)イ 体積	花瓶から移し替えた水の体積を、計算して求めることができること。			○			○
⑮		(3)	図形 4年	C(2)ア 直方体と立方体	与えられた直方体の面をかくことができること。			○			○
⑯	7	(1)	図形 5年	C(1)イ 合同	合同な図形の性質を理解していること。				○	○	
⑰		(2)	図形 5年	C(1)イ 合同	合同な図形の性質を用いて、合同な図形をかくことができること。			○		○	
⑱	8	(1)	量と測定 4年	B(1)イ 面積	複合図形の面積について、式に合った求め方を考えることができること。		○				○
⑲		(2)	量と測定 4年	B(1)イ 面積	複合図形の面積の求め方を考えることができること。		○				○
⑳	9		量と測定 4年	B(1)イ 面積	与えられた面積の広さを表そうとしていること。	○					○

※領域及び学年、学指指導要領の内容については、すべて新学習指導要領で記述しています。